

「信州型仕分け」シンクタンク派遣10人発表

全仕分け人構成決まる

県は7日、「信州型事業仕分け」(15、16日)で事業の必要性などを議論する「仕分け人」のうち、政策シンクタンク「構想日本」(東京)が派遣する10人を発表した。コーディネーター、仕分け精通者として参加し、河野太郎・自民党衆院議員や、2009年7月まで県企画参事として並行在来線問題などを担当した岡本直之・内閣官房行政改革推進室内閣参事官らが入った。

信州型事業仕分けの「仕分け人」(敬称略)

	県庁 (15日)		県松本合同庁舎 (16日)	
	A班 (企画、総務、環境部、県教委、県警本部)	B班 (健康福祉部、県教委)	C班 (観光、農政、林務、企画部、県教委)	D班 (商工労働、企画、建設部)
コーディネーター	小瀬村寿美子(神奈川県厚木市人権男女参画課長)	荒井英明(神奈川県厚木市こども育成課長)	伊藤伸(構想日本政策担当ディレクター)	荒井英明(神奈川県厚木市こども育成課長)
仕分け精通者	河野太郎(衆院議員) 信夫隆生(内閣府行政刷新会議事務局企画官)	新倉聡(神奈川県横須賀市選挙管理委員会) 藤城真(内閣府行政刷新会議事務局参事官)	山内敬(元滋賀県高島市副市長) 信夫隆生(内閣府行政刷新会議事務局企画官)	百瀬治彦(山梨県総合県税事務所) 岡本直之(内閣官房行政改革推進室内閣参事官)
県民委員	古平浩(長野市) 小山仁志(佐久市)	岩井達夫(佐久市) 米窪千加代(塩尻市)	武居博明(塩尻市) 宇原直雄(長野市)	森田勝(駒ヶ根市) 西沢正樹(松本市)
県内有識者	土屋龍一郎(ツチャ・エンタプライズ社長) 平沢和人(NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師事務所長)	唐沢彦三(県社会福祉協議会会長) 小口寿夫(諏訪赤十字病院院長) 小宮山淳(学校法人松商学園学園長)	扇田孝之(コミュニケーション・デザイン研究所代表) 伊藤清人(県農業経営者協会会長) 香山由人(山仕事創造舎代表理事)	半谷雅典(前田鉄工所社長) 宮島晴樹(県建設労働組合連合会書記長)
市町村関係者	酒井登(長野市副市長)	西藤栄二(小県郡長和町副町長)	熊谷浩平(下伊那郡下条村副村長)	坪田明男(松本市副市長)

昨年12月に発表した県内有識者や公募の県民委員らを含め、これで仕分け人全員の構成が決まった。担当部署ごとにA～Dの4班を組み、各班8～9人で構成する。阿た10人は、他県の自治体職員や省庁の官僚らが中心。構想

日本側で人選したという。河野氏や小瀬村寿美子氏(神奈川県厚木市人権男女参画課長)は昨年11月に行われた小諸市の仕分けにも参加。新倉聡氏(同県横須賀市選挙管理委員会)は同10月の佐久市の仕分けにも携わった。

県は7日、当日の議論で資料となる「事業シート」を信州型事業仕分けのホームページ(http://www.pref.nagano.jp/soumu/gyoukaku/shiwake/shiwaketop.htm)で公表した。対象となる27事業それぞれの目的や内容、費用効果などを説明している。

事業仕分けは15日が長野市の県庁、16日は松本市の県松本合同庁舎で、ともに午前9～午後5時に公開で行う。